

## 留学生受入れ促進プログラム予約制度（日本語教育機関推薦）について

独立行政法人日本学生支援機構は、日本語教育機関において、2020年4月に大学（学部）、短期大学、高等専門学校（第3学年以上）、専修学校専門課程への進学を目指して勉学している留学生に対して、「留学生受入れ促進プログラム予約制度取扱要領」に基づく文部科学省外国人留学生学習奨励費（以下「学習奨励費」という。）給付予約者を、下記により募集する。

※なお、この募集は、2020年度予算の成立を前提に行うものである。

### 1. 応募者の資格

次の要件を全て満たしているかを貴校において確認して、推薦してください。

- (1) 2019年度に実施した「日本留学試験」において、「日本語」と「基礎学力科目」（2科目）を受験している者（以下①か②のいずれかの科目選択パターンにより受験している者）で、成績が優秀であった者。

①日本語、数学（コース1又はコース2）及び理科

②日本語、数学（コース1又はコース2）及び総合科目

(注)「成績が優秀であった者」とは、「日本留学試験において、当該試験の平均点以上を得点した者」を目安とする。

- (2) 在籍する日本語教育機関における申請年度の出席率が90%以上の者。

(注) 2019年4月から12月末までの出席を（出席時数/授業時数）×100(小数点第2位切捨て)で算出すること。

- (3) 2019年4月から12月末までの「成績評価係数」が2.30以上である者。

#### 【成績評価係数】

〔算出方法〕＊留学生受入れ促進プログラム募集要項における算出方法と同じです。

$$\frac{(\text{優又はAの科目数} \times 3) + (\text{良又はBの科目数} \times 2) + (\text{可又はCの科目数} \times 1) + (\text{不可の科目数} \times 0)}{\text{総登録科目数}}$$

(注1) 成績評価について、優（又はA）、良（又はB）、可（又はC）の表記以外の成績評価をしている場合は、次に示す基準を参考に、成績評価係数に換算すること。

「100点を満点とした場合、80点以上を優（又はA）、70点以上を良（又はB）、60点以上を可（又はC）とする。」

(注2) 総登録科目数とは、申請時において推薦者が登録済の科目数（登録制でない機関においては、当該者が履修すべき全ての科目数）から申請時以降において履修すべき科目を除いたものをいう。

- (4) 2019年4月以前に入学した者で、正規（認定）のコースに1年以上在籍し、2020年3月に修了する見込みである者。

- (5) 2020年度に、大学等に入学後に学習奨励費との併給を制限されている奨学金等の給付

を受ける予定でないこと。

(注) 現在、奨学金を受給していても、今年度限りで給付が終了するものは含まない。

(6) 大学等に入学し、学習奨励費受給後に、在籍大学等が行う進路状況調査に協力する意思を有する者であること。

(7) 語学能力の水準が、次の①又は②に定めるいずれかの水準に該当する者

①日本語能力 独立行政法人国際交流基金及び公益財団法人日本国際教育支援協会が実施する日本語能力試験において N2 レベル以上に合格した者、機構が実施する日本留学試験の日本語科目（読解、聴解及び聴読解）の得点が 200 点以上である者又は機構が別に認める語学水準以上である者

②英語能力 CEFR (Common European Framework of Reference for Languages : Learning, teaching, assessment : 外国語の学習、教授、評価のためのヨーロッパ共通参照枠) において B2 レベル以上であると認められる者

(8) 日本留学試験受験者として予約者に決定されていない者

(注) 2019年6月又は11月に行われた日本留学試験受験者として予約者に決定されている者は対象外となりますので、本推薦からは除いてください。

※2019年11月に行われた日本留学試験受験者に対する予約者の決定・公表は、1月末に行う予定です（本人への通知及び機構ホームページに掲載）。

## 2. 予約者数

290人程度

## 3. 2020年度学習奨励費について

(1) 給付期間：2020年4月～2021年3月（12か月）

(2) 給付金額：月額48,000円（2019年度実績、2020年度は4月に決定）

## 留学生受入れ促進プログラム予約制度の推薦に係る

## 提出書類及び提出期日一覧表

\*様式2-1、2-2、3は提出不要

様式	書類名	摘要	提出期日
様式1-1	留学生受入れ促進プログラム 予約制度推薦書(日本語教育機 関在籍者)	記入については、別記2を参 考にしてください。【郵送で 提出】	2020年 2月18日(火) 機構必着
様式1-2	留学生受入れ促進プログラム 予約制度推薦者調書(日本語教 育機関在籍者)	推薦者全員について記入す ること。(別記2参照) 【Excelファイルで提出】	
様式1-3	日本留学試験成績通知書原本 証明書(日本語教育機関在籍 者)	2019年度日本留学試験 成績通知書の写しを貼り付 け、本人に署名をさせた後、 最下段に設置代表者又は校 長が原本証明すること。【郵 送で提出】	
* 様式2-1	留学生受入れ促進プログラム予約決 定通知書(日本留学試験受験者)	日本留学試験受験者用なの で、今回の推薦には関係あり ません。	
* 様式2-2	留学生受入れ促進プログラム予約決 定通知書(日本留学試験受験者)＜海 外受験成績優秀者＞		
* 様式3	留学生受入れ促進プログラム予 約決定通知書(日本語教育機関在 籍者)	予約者が決定され次第、本機 構から各日本語教育機関へ 送付するので、提出不要。	
オンライン	文部科学省外国人留学生学習 奨励費給付予約者入学先の報 告書	予約者本人が、機構WEBペー ジに入力する。(詳細は予約決定 通知書(様式3)送付時に通知しま す。)	2020年3月19 日(木)
様式5	文部科学省外国人留学生学習 奨励費給付予約者の入学届	予約決定者本人が入学先の 大学(学部)・短大・専修学 校へ提出する。	入学後速やかに入学 先へ提出

○様式は下記よりダウンロードできます。

[https://www.jasso.go.jp/ryugaku/tantoshastudy\\_j/scholarship/shoureihi/yoyaku\\_japanese\\_school.html](https://www.jasso.go.jp/ryugaku/tantoshastudy_j/scholarship/shoureihi/yoyaku_japanese_school.html)

○提出は締め切り厳守です。郵便は簡易書留等、記録の残る方法で送付してください。(FAX不可)

【提出先】 独立行政法人日本学生支援機構 留学生事業部 国際奨学課学習奨励費担当

〒135-8630 東京都江東区青海2-2-1

＜様式1-2のExcelファイル提出用Webページ＞

[https://www.jasso.go.jp/ryugaku/tantoshastudy\\_j/scholarship/shoureihi/yoyaku\\_japanese\\_school.html](https://www.jasso.go.jp/ryugaku/tantoshastudy_j/scholarship/shoureihi/yoyaku_japanese_school.html)

## 書類作成及び提出について

## 【様式1-1 留学生受入れ促進プログラム予約制度推薦書(日本語教育機関在籍者)】

○公印を押印し、郵送で提出してください。

## 【様式1-2 留学生受入れ促進プログラム予約制度推薦者調書(日本語教育機関在籍者)】

○「出席率」は、2019年4月から12月末までの出席を

(出席時数/授業時数) × 100 (小数点第2位切捨て) で算出すること。

○「成績評価係数」は、2019年4月から12月末までの成績とする。

[算出方法] \* 留学生受入れ促進プログラム募集要項における算出方法と同じです。

$$\frac{(\text{優又はAの科目数} \times 3) + (\text{良又はBの科目数} \times 2) + (\text{可又はCの科目数} \times 1) + (\text{不可の科目数} \times 0)}{\text{総登録科目数}}$$

総登録科目数

(注1) 成績評価について、優(又はA)、良(又はB)、可(又はC)の表記以外の成績評価をしている場合は、次に示す基準を参考に、成績評価係数に換算すること。

「100点を満点とした場合、80点以上を優(又はA)、70点以上を良(又はB)、60点以上を可(又はC)とする。」

(注2) 総登録科目数とは、申請時において推薦者が登録済の科目数(登録制でない機関においては、当該者が履修すべき全ての科目数)から申請時以降において履修すべき科目を除いたものをいう。

○「語学水準」は、満たしている基準をプルダウンで選んでください。

①日本語能力 独立行政法人国際交流基金及び公益財団法人日本国際教育支援協会が実施する日本語能力試験においてN2レベル以上に合格した者、機構が実施する日本留学試験の日本語科目(読解、聴解及び聴読解)の得点が200点以上である者又は機構が別に認める語学水準以上である者

②英語能力 CEFR(Common European Framework of Reference for Languages: Learning, teaching, assessment: 外国語の学習、教授、評価のためのヨーロッパ共通参照枠)においてB2レベル以上であると認められる者(レベルの確認については、文部科学省発表の対照表を確認ください。)

[http://www.mext.go.jp/b\\_menu/houdou/30/03/1402610.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/30/03/1402610.htm)

○「予定進学先」は、予定している進学先をプルダウンで選んでください。

○日本留学試験の欄は該当する科目の得点を記入し、それ以外の欄は**全て記入**してください。

○「試験月(日本留学試験)」は、受験をした試験の月をプルダウンで選択してください。

○「日本留学試験成績(得点)」は、受験した科目の得点を記入してください。

(注) 日本語(読解等): 読解、聴解・聴読解の合計得点。

理 科: 物理・化学・生物のうち、受験した2科目の合計得点。

数 学: 「数学コース」にコース番号をプルダウンで選択してください。

○提出の際はExcel ファイルをWeb ページからアップロードしてください。(様式1-1、様式1-3のシートがついたままでもかまいません。)

※ファイル名は「(貴校の学校番号) 推薦者調書」としてください。(例: 90000 推薦者調書)

<様式 1 - 2 の Excel ファイル提出用 Web ページ>

[https://www.jasso.go.jp/ryugaku/tantoshu/study\\_j/scholarship/shoureihi/yoyaku\\_japanese\\_school.html](https://www.jasso.go.jp/ryugaku/tantoshu/study_j/scholarship/shoureihi/yoyaku_japanese_school.html)

※SSL で保護されているため、ファイルへのパスワード設定は不要です。

**【様式 1 - 3 日本留学試験成績通知書原本証明書（日本語教育機関在籍者）】**

- 受験者各人あて 2019 年度日本留学試験成績通知書の写しを貼り付け、受験者本人に署名をさせた後、その最下段に設置代表者又は校長が原本証明すること。
- 郵送で提出してください。